

みずほCustomer Desk Report 2017/04/20号(As of 2017/04/19)

【昨日の市況概要】

		公示仲値		108.54		
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.55	1.0728	116.44	0.9965	1.2845	0.7559
SYD-NY High	109.18	1.0737	116.97	0.9992	1.2860	0.7562
SYD-NY Low	108.39	1.0700	116.28	0.9957	1.2770	0.7492
NY 5:00 PM	108.86	1.0711	116.57	0.9981	1.2777	0.7498
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.745/11.245		△25RR	2.405	Yen Call Over	
NY DOW	20,404.49	▲118.79	債券市場	日本2年債	-0.2100	1.0bp
NASDAQ	5,863.03	13.56		日本10年債	0.0110	0.1bp
S&P	2,338.17	▲4.02		米国2年債	1.1766	1.6bp
日経平均	18,432.20	13.61		米国5年債	1.7392	3.9bp
TOPIX	1,471.42	▲0.11		米国10年債	2.2143	4.6bp
シカゴ日経先物	18,435	55.00		独10年債	0.2030	4.7bp
ロンドンFT	7,114.36	▲33.14		英10年債	1.0650	5.1bp
DAX	12,016.45	16.01		豪10年債	2.4560	▲3.1bp
ハンセン指数	23,825.88	▲98.66	為替市況	USD/CNH	6.8854	0.0096
上海総合	3,170.69	▲26.03		ドルインデックス	99.74	0.24
USDJPY 3M Vol	9.60	▲0.39%	商品市況	CRB指数	183.918	▲2.63
USDJPY 6M Vol	9.55	▲0.23%		NY金	1,283.40	▲10.70
EURJPY 3M Vol	12.64	▲0.35%		WTI	50.44	▲1.97
EURJPY 6M Vol	11.18	▲0.49%		Dubai Spot	53.15	▲0.15

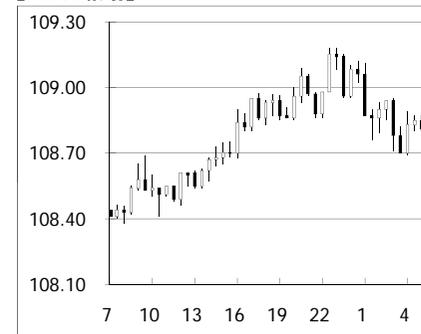
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月19日	18:00	欧 CPI・確報(前月比/前年比)	3月 0.8%/1.5%	0.8%/1.5%
	21:00	欧 クーレECB理事 講演	-	-
	23:30	欧 プラートECB理事 講演	-	-
4月20日	1:30	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁 講演	-	-
	3:00	米 地区連銀経済報告(ページブック) 公表	-	-

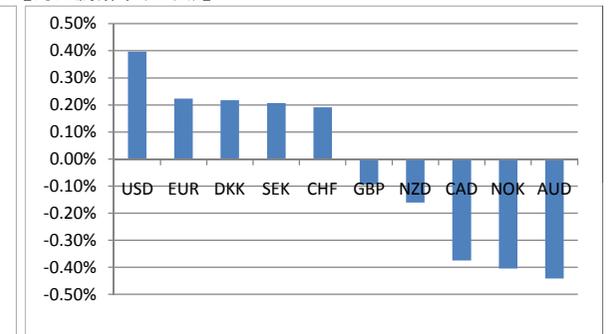
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月20日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	8:50	日 貿易収支	3月 ¥608.0B	¥813.5B
	19:30	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
	21:00	欧 パウエルFRB理事 講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	240K	234K
	21:30	米 ファイデルフィア連銀景況感指数	4月 25.5	32.8
	23:00	米 景気先行指数	3月 0.2%	0.6%
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	4月 -4.8	-5.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.50	1.0650-1.0800	115.50-117.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル/円は109円丁度を挟んで上下に行き交った展開。米金利上昇でドルが主要通貨に対して下げ止まる中、ドル/円は東京時間の流れを引継ぎ109円台前半まで上伸した。しかしその後、米ガソリン在庫の増加を嫌気した原油価格の急落や強弱混じった米株価を受けてドル/円は108円台後半まで下落した。本日は、動意に乏しいレンジ相場を予想する。いわゆるゴトー日ではあるが、主だった経済指標の発表予定はなく、トランプ米政権の税制政策等への新たな動きや週末の仏大統領選挙が意識され、積極的にポジションは取り難いであろう。

東京	東京時間のドル円は108.55レベルでオープン。日経平均株価が100円程度下落して寄り付いたものの、その後下げ幅を縮小する動きを受けて、ドル円は一時108.65近辺まで上昇。しかし、さらなる上値追いの展開とはならず、すぐに108.50近辺まで押し戻される動きとなった。その後、ペンス米副大統領より「北朝鮮に対して中国と連携して圧力をかけていく」などの発言が見られたが、特段目新しい内容でもなくマーケットの反応は限定的。午後に入ってから材料難な状況が続き、108円台半ばでの揉み合い推移に終結した。引けにかけてややドル買いの流れが強まると、一時東京時間高値となる108.75まで上昇し108.70レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.70レベルでオープン。ムニッヒン米財務長官が「トランプ大統領には自身の発言によってドルを押し下げようとする意図は絶対はない」と述べたことや、米投資銀の1-3月期決算が市場予想を上回ったこと等を背景に108.97まで上昇。108.86レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2831レベルでオープン。NY時間にメイ英首相が6月に解散総選挙を実施する議案の採決を前に総じて様子見ムード。オープンと同水準のレベルで揉み合い推移となり、1.2839レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0723レベルでオープン。ユーロ圏3月CPI(確報値)が前年比+1.5%と2月の同+2.0%から伸びが鈍化したことや、エストニア中銀総裁がECBの政策変更には裏付けとなるデータがさらに必要になるとの見解を示したことを受け、ユーロ相場観測が遠のいて1.0709まで下落。その後、やや値を戻して1.0719レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は108.86レベルでオープン。朝方はロンドン盤から続く米金利上昇を横目に、一時高値となる109.18まで上昇。しかし、その後発表された米週間ガソリン在庫統計が予想を大きく上回る在庫増となると、WTI原油は約2週間ぶりとなる50ドル近辺まで急落し、その他コモディティ市場もつれ安の展開。こうした動きを受けて堅調に推移していた米株がエネルギーセクターを中心にマイナス圏に転じると、ドル円は108.69まで下落した。その後は23日(日)に実施される仏大統領選挙を控え警戒感が徐々に広がる中、108円台後半で小動きとなり108.86レベルでクロスした。なお、この日に公表された米ベージュブックやフィッシャーFRB副議長長の講演では特段目新しい内容もなく、材料視されなかった。一方、ユーロドルは1.0719レベルでオープン。仏大統領選の各候補者の支持率は引き続き拮抗しており、四つ巴の様相を呈している。昨年のBrexitを巡る国民投票や米大統領選などを受け、世論調査への懐疑的な見方も強まる状況下、極右政党・ルペン候補が勝利する可能性も否めないことからユーロは手控えムードとなり、1.07台前半でのレンジ推移が続いた後、1.0711レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。